

介護総合演習Ⅳ

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 2年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 介護過程の展開を考え、個別介護について理解を深め、実践につなげることができる。
2. 施設職員の組織を理解し、チームの一員として介護業務を行う能力を養う。
3. 介護過程の展開を考え、個別介護について検討できる能力を獲得する。

【授業の展開計画】

科目担当者実務経験

【吉岡】大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員 他

【馬場】介護施設（介護福祉士）、介護福祉士養成校教員 他

週	授 業 の 内 容
1	介護実習Ⅲを振り返り、施設や技術、利用者の理解を深める（馬場）
2	介護実習Ⅲにおける学習について、その成果と不足点を分析する（吉岡）
3	介護実習Ⅰ～Ⅲから、自己の課題を明確にする（馬場）
4	介護実習Ⅳの目的を理解し、日常生活が困難な方への技術の提供を検討する（吉岡）
5	入所施設と地域、家族の連携について、現状と課題を検討する（討議）（吉岡・馬場）
6	連続した生活支援について考え、生活課題を見出す方法を探る（馬場）
7	介護実習Ⅳの目的から自己課題を明確にする（吉岡）
8	介護実習Ⅳの実習目標を設定し、行動計画を立案する（吉岡）
9	実習目標及び行動計画を具体化し、日々の行動計画を作成する（吉岡・馬場）
10	実習課題である「介護福祉士の役割」について検討する（討議）（吉岡・馬場）
11	チームアプローチについて考え、具体的場面から介護の役割を見出す（吉岡）
12	介護実習における自己評価項目を作成する（吉岡・馬場）
13	介護実習Ⅳの直前指導として課題確認し、実習での行動と学習を検討する（吉岡・馬場）
14	介護実習Ⅳを振り返り、課題を整理して報告書を作成する（吉岡・馬場）
15	介護実習Ⅳにおける目標達成度の確認と学びの共有を、発表を通して実践する（吉岡・馬場）

【履修上の注意事項】

規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない

シラバスを確認して、単元の事前学習と準備を行い、演習後には課題に取り組むこと
事前事後学習として90分程度

【評価方法】

演習への積極性、参加態度：60% 提出物（課題・レポート等）：40%

提出された課題レポートはコメントを入れて返却する

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会「介護総合演習・介護実習」 中央法規

【参考文献】

適宜紹介する